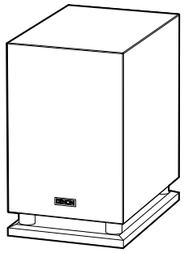
DENON®

DSW-37
SUBWOOFER
取扱説明書



ご使用になる前に

安全上のご注意

安全に関する重要な内容ですので、ご使用の前によくお読みのうえ、正しくお使いください。

⚠ 警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

万一異常が発生したら、電源プラグをすぐに抜く
- 煙や異臭、異音が出たとき
- 落としたり、破損したりしたとき
- 機器内部に水や金属類、燃えやすいものなどが入ったとき

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体と接続している機器の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、安全を確認してから販売店にご連絡ください。お客様による修理などは危険ですので絶対におやめください。

ご使用は正しい電源電圧で
表示された電源電圧以外で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

電源コードは大切に
電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷んだら、すぐに販売店に交換をご依頼ください。

電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着しているときは
電源プラグをコンセントから抜いて、乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

火や炎を近づけない
本機の上でろうそくを灯す・タバコの灰皿を使用するなどの火や炎の発生しているものを置かないでください。
火災の原因になります。

内部に水などの液体や異物を入れない
機器内部に水などの液体や金属類、燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

水滴や水しぶきのかかるところに置かない
雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。
水がかかったり、濡れた状態で使用すると火災、感電の原因になります。

ねじを外したり、分解や改造したりしない
内部には電圧の高い部分がありますので、火災・感電の原因となります。
内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

雷が鳴り出したら
機器や電源プラグには触れないでください。
感電の原因となります。

風呂・シャワー室では使用しない
火災・感電の原因となります。

この機器の上に花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品や水などが入った容器、および小さな金属物を置かない
こぼれたり、中に入ったりした場合、火災・感電の原因となります。

必ず AC100V のコンセントに電源プラグを差し込んで使用する
本機は国内仕様です。AC 100V 以外の電源には絶対に接続しないでください。
火災・感電の原因となります。

⚠ 注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

付属の電源コードを使用する
他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。また、付属の電源コードは本機以外には使用しないでください。電流容量などの違いにより火災・感電の原因となることがあります。

電源コードは確実に接続し、束ねたまま使用しない
電源コードを接続するときは接続口に確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、火災･感電の原因となることがあります。
根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントには接続しないでください。その場合、販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。また、電源コードは束ねたまま使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。

電源コードを熱器具に近付けない
コードの被ふくが溶けて、火災･感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは
電源コードを引っ張らずに必ずプラグを持って抜いてください。
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

すぐにコンセントからプラグを抜くことができるように設置する
電源のスイッチを切ってもコンセントからは完全に遮断されていません。
万一の事故防止のため、本機をコンセントの近くに置き、すぐにコンセントからプラグを抜くことができるようにしてください。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない
感電の原因となることがあります。

機器の接続は説明書をよく読んでから接続する
テレビ・オーディオ機器・ビデオ機器などの機器を接続する場合は、電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従って接続してください。また、接続には指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります

電源を入れる前には音量を最小にする
突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

長時間音が歪んだ状態で使用しない
スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

不安定な場所に置かない
ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

次のような場所には置かない
火災・感電の原因となることがあります。
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるようなところ
- 湿気やほこりの多いところ
- 直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど高温になるところ

壁や他の機器から少し離して設置する
放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面や背面から少し隙間をあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

通風孔をふさがない
内部の温度上昇を防ぐため、通風孔が開けてあります。次のような使いかたはしないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
- あお向けや横倒し、逆さまにする
- 押し入れ・専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い場所に押し込む
- テーブルクロスをかけたり、じゅうたん・布団の上に置いて使用する

この機器に乗ったり、ぶら下がったりしない
特に幼い お子様のいるご家庭では、ご注意ください。倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

重いものをのせない
機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。

移動させるときは
外部の接続コードを外してからおこなってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

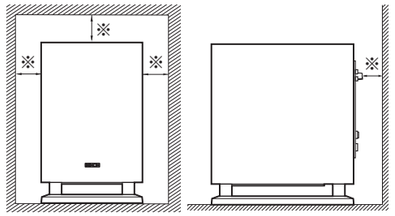
長期間の外出・旅行のとき、またはお手入れのときは
安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となることがあります。

5 年に一度は内部の掃除を
販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。
特に、湿気の多くなる梅雨期の前におこなうと、より効果的です。なお、内部の掃除費用については販売店などにご相談ください。

取り扱い上のご注意

設置の際のご注意

- 転倒による事故を防止するため、しっかりとした水平な床の上に設置してください。
- 本機をレコードプレーヤーと同じ台や棚の上に設置すると、ハウリングを起こすことがありますのでご注意ください。
- 本機の上に、レコードプレーヤー、CD プレーヤーなどの AV 機器を設置しないでください。
- 本機のスピーカーは、テレビとの近接使用が可能な防磁型ですが、テレビの種類によっては色むらを生じる場合があります。その場合は、テレビから離してご使用ください。
- 放熱のため、壁や他の AV 機器などから天面、左右両面、後面とも十分に離してください。

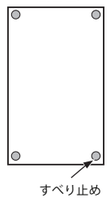


※ 10cm 以上離す

❑ すべり止めの貼りかた

本機をタイル貼りやフローリングの床のようにすべりやすいところで使用する場合には、付属のすべり止めを下図のように貼り付けてご使用ください。

【底面図】



携帯電話使用時のご注意

本機の近くで携帯電話を使用すると、雑音（ノイズ）が入ることがあります。携帯電話は本機から離れた位置でお使いください。

結露（つゆつき）についてのご注意

本機を寒いところから急に暖かいところに移動させたり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部に水滴が付くことがあります（結露）。結露したまま本機を使用すると、正常に動作せず、故障の原因となることがあります。
結露した場合は、1～2 時間放置してから使用してください。

お手入れについてのご注意

- キャビネットや操作パネル部分の汚れを拭き取るときは、柔らかい布を使用して軽く拭き取ってください。
  ※ 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- ベンジン、シンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質したり変色することがありますので使用しないでください。

その他のご注意

音量を極端に大きくして歪んだ音のまま再生することは、スピーカーにとってダメージになる場合があります。適正な音量でお楽しみください。

ステレオ音のエチケット

- 隣り近所への配慮（おもいやり）を十分にいたしましょう。
- 特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。

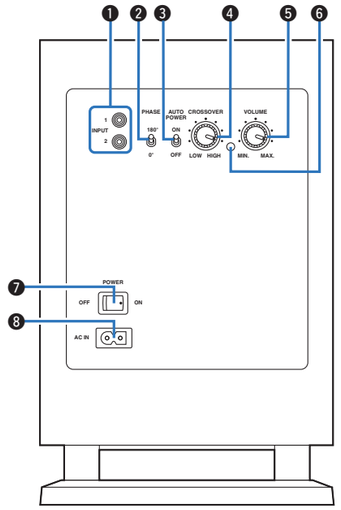
付属品について

お買い上げいただきありがとうございます。
本機をご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。

① 取扱説明書（本書）..... 1
② 保証書（梱包箱に添付）..... 1
③ サブウーハーケーブル（長さ：約3m）..... 1
④ 電源コード【本機専用】..... 1
⑤ すべり止め（1シート4枚）..... 1

各部の名前とはたらき

リアパネル



❶ ライン入力端子（INPUT 1/2）
この端子をアンプのサブウーハー出力端子（SUBWOOFER PREOUT など）やステレオプリアウト端子と接続します。

❷ 位相切り替えスイッチ（PHASE）
出力信号の位相を切り替えます。
- 0°：通常の設定です。
- 180°： サブウーハーと左右のスピーカーの音のつながりが不自然に聞こえるときに設定してください。

❸ オートスタンバイモードスイッチ（AUTO POWER）
- ON：本機に入力される信号がない状態が 1～10 分間続くと、自動的にスタンバイ状態になります。また、スタンバイ状態のときに信号が入力されると電源がオンになります。
- OFF：上記の機能がはたらきません。

❹ クロスオーバー調節つまみ（CROSSOVER）
ウーハーで再生する周波数の上限を設定します。
AV アンプに接続する場合は、"HIGH" に設定することをおすすめします。

クロスオーバー周波数の調節について
- クロスオーバー周波数とは、フロント / センター / サラウンドスピーカー / サブウーハーの各スピーカーがそれぞれ受け持つ音域の境目の周波数のことです。
- お手持ちのアンプにクロスオーバー周波数を調節する機能がある場合は、お好みに合わせてアンプのクロスオーバー周波数を調節してください。詳しくは、お手持ちのアンプの取扱説明書をご覧ください。

❺ 音量調整つまみ（VOLUME）
サブウーハーの音量を調節します。

❻ 動作表示
本機の動作状態を表示します。
- 電源オン ..... 緑色の点灯
- 電源スタンバイ状態 ..... 赤色の点灯
- 電源オフ ..... 消灯

❼ 電源スイッチ（POWER ON/OFF）
- ON：電源がオンになります。
- OFF：電源がオフになります。

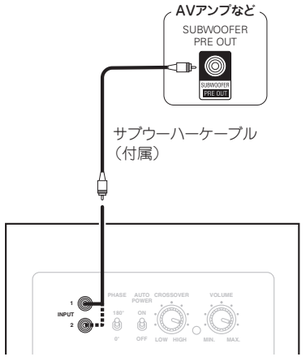
❽ AC インレット（AC IN）
電源コードを接続します。

接続のしかた

アンプの接続

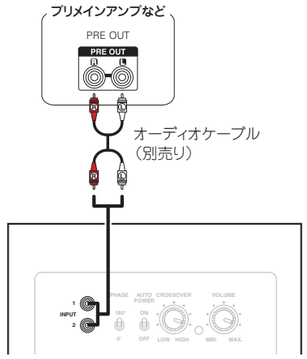
サブウーハー出力端子付きの機器と接続する

付属のサブウーハーケーブルを使って、本機の INPUT 1 端子または INPUT 2 端子と、アンプのサブウーハー出力端子を接続します。



ステレオプリアウト端子付きの機器と接続する

別売りのオーディオケーブルを使って、本機の INPUT 1 および INPUT 2 端子と、アンプのステレオプリアウト端子(L/R)を接続します。



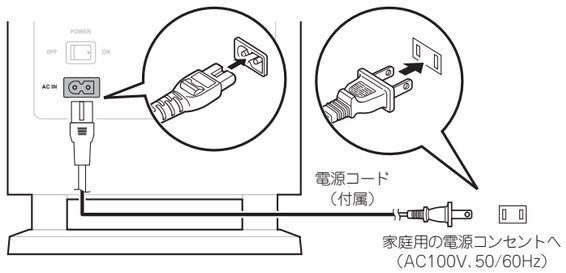
- 本機はステレオ音声を入力できますが、出力はモノラル音声でおこないます。ステレオプリアウト端子(L/R)は、本機の INPUT 1 および INPUT 2 端子のどちらにでも接続できます。

ご注意

- すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
- 接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 接続ケーブルは、電源コードやスピーカーケーブルと一緒に束ねないでください。雑音の原因となることがあります。

電源の接続

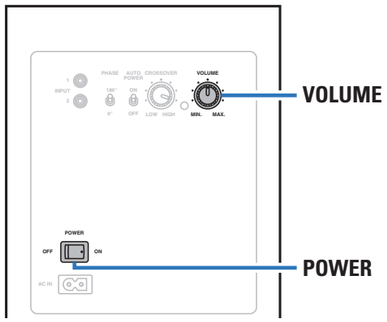
すべての接続が完了したら、電源プラグをコンセントに差し込みます。



ご注意

- 電源プラグは確実に差し込んでください。不完全な接続は、雑音発生の原因となります。

操作のしかた



1 **POWER スイッチを“ON”にする。**
本機の電源がオンになります。

2 **本機に接続したアンプの音量を調節する。**
本機の音量は、アンプの音量に連動します。

3 **VOLUME つまみで低音の音量を調節する。**

オートスタンバイ機能について

入力信号がない状態が 1～10 分間続くと、自動的にスタンバイ状態になります。信号を入力するとすぐに電源がオンになります。

故障かな？と思ったら

- ❑ **各接続は正しいですか**
- ❑ **取扱説明書に従って正しく操作していますか**
- ❑ **アンプやプレーヤーは正しく動作していますか**

本機が正常に動作しないときは、次の表に従ってチェックしてみてください。
なお、この表の各項にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。
もし、お買い上げの販売店でお分かりにならない場合は、当社のお客様相談センターまたはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

症 状	原 因	対 策
電源スイッチを入れても動作表示が点灯せず、音も出ない。	• 電源プラグの差し込みが不完全である。	• 電源プラグの差し込みを点検してください。
動作表示は点灯するが、音が出ない。	• コードの接続が不完全である。 • 音量調節つまみを絞っている。 • 過大入力や温度上昇などにより保護回路が動作している。	• しっかり接続してください。 • 適当な位置まで回してください。 • 一旦電源スイッチを“OFF”にして、1 分以上放置してから再度“ON”にしてください。 • それでも復帰しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
音が歪む。	• 音量が大きすぎる。 • 本機を接続したアンプ側で音が歪んでいる。	• 音量を下げてください。 • アンプ側で低音を増強しないでください。
発振する。 （大きな音が連続的に出る。）	• 本機の音量が大きすぎる。	• 音量を下げてください。
音量がアンプの音量調節に連動しない。	• アンプのサブウーハー用以外の接続端子（出力レベルが一定）に接続している。	• アンプのサブウーハー用端子に接続してください。

保証と修理について

保証書について

この製品には保証書が添付されております。保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

❑ 保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

ご注意

保証書が添付されない場合は有料修理になりますので、ご注意ください。

❑ 保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理致します。

修理料金のしくみ

- 技術料.....故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費・技術教育費・測定機器などの設備費・一般管理費などが含まれます。
- 部品代.....修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
- 出張料.....製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途駐車料金をいただく場合があります。

修理を依頼されるとき

❑ 修理を依頼される前に

- 正しい操作をしていただけずに修理を依頼される場合がありますので、この取扱説明書をお読みいただき、お調べください。

❑ 修理を依頼されるとき

- 修理お問い合わせ窓口へご相談ください。
- 出張修理をご希望される場合は、別途出張料をご請求させていただくことになりますので、あらかじめご了承ください。
- 修理を依頼されるときのために、梱包材は保存しておくことをおすすめします。

依頼の際に連絡していただきたい内容

- お名前、ご住所、お電話番号
- 製品名..... 取扱説明書の表紙に表示しています。
- 製造番号..... 保証書と製品背面に表示しています。
- できるだけ詳しい故障または異常の内容

補修部品の保有期間

補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。

お客様の個人情報の保護について

- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- この商品に添付されている保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

主な仕様

形式：	アンプ内蔵バスレフ型
再生周波数帯域：	20Hz～400Hz
最大出力：	100W（PEAK）
入力インピーダンス：	LINE IN：22k Ω
電源：	AC100V、50/60Hz
消費電力：	30W
待機電力：	0.5W 以下
スピーカーユニット：	16cm コーン形× 1、防磁設計
寸法：	225（幅）× 375（高さ）× 370（奥行き）mm
質量：	8kg

※仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。
※『防磁設計』とは、（社）電子情報技術産業協会（略称 JEITA）の技術基準に適合したスピーカーシステムです。
※本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では使用できません。

当社製品のご相談と修理についてのお問い合わせは、お買い上げ店または下記窓口にご連絡ください。

お客様相談センター

☎ 0570（666）112
FAX：044（330）1367

■ 受付時間　9：30～17：30
（当社休日および祝日を除く、月～金曜日）

■ 上記番号がご利用いただけない場合

☎ 050（3388）6801
〒210-8569　神奈川県川崎市川崎区日進町 2 番地 1
D&M ビル

■ お問い合わせをいただく前に、ホームページの FAQ をご確認ください。
http://denon.jp/jp/html/faq.html

■ メールでお問い合わせをいただくこともできます。
http://denon.jp/jp/html/contact.html

＊ 電話番号・ファックス番号・URL は変更になる場合があります。

修理相談窓口

☎ 0570（666）811

■ 受付時間　9：30～12：00、13：00～17：30
（当社休日および祝日を除く、月～金曜日）

■ 上記番号がご利用いただけない場合

☎ 0466（86）9520

■ 故障・修理・その他のサービス関連情報については、次の当社ホームページでもご確認いただけます。
http://denon.jp/jp/html/service.html

■ 代表修理窓口
首都圏サービスセンター
〒252-0816　神奈川県藤沢市遠藤 2010-16
FAX：0466（86）9522

＊ ディーアンドエムホールディングス本社では製品の修理を受け付けておりません。

DENON®

株式会社 ディーアンドエムホールディングス
〒210-8569
神奈川県川崎市川崎区日進町 2 番地 1　D&M ビル

Printed in China　5431 10524 00AD

Copyright © 2016 D&M Holdings Inc. All Rights Reserved.